

募 集

紹介「学会・研究会」の募集

このたび日本獣医師会雑誌では、獣医学関連分野で広く活動を行っている、学会・研究会を読者に紹介し、さらなる獣医学術の発展、獣医療従事者の人材育成に資するよう、紹介「学会・研究会」をシリーズ企画として掲載することといたしましたので、掲載を希望する学会・研究会におかれましては、下記に基づき原稿をご投稿いただきたくよろしく申し上げます。

記

執筆要領：日本獣医師会雑誌投稿規程参照
(第64巻第12号参照)

原稿字数：1,000～1,600字以内
(別に写真1枚添付可)

執筆内容：以下の項目を順に記載

- 1 学会・研究会名(英文名)
- 2 事務所所在地(郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、ホームページURL)

3 目的

4 組織(代表者名、会員・役員構成(人数を含む))

5 沿革(設立年月日、設立経緯、経過等)

6 活動内容と特色(活動状況、活動への参加方法、入会の方法を含む)

7 文責者

その他：掲載の可否は日本獣医師会雑誌編集委員会の審査による

お知らせ

平成23年度 動物看護職試験実施される

動物看護師の統一資格認定に向けての全国統一試験が、動物看護職統一試験協議会(会長：桜井富士朗)の主催により平成24年2月19日(日)、全国11の試験会場で4,168名の受験申込者を集めて実施された。

この試験の合格者は申請により、動物看護師統一認定機構が認定する「認定動物看護師」資格保有者として認定者名簿に登録される。将来的な動物看護師の公的資格化への第一歩として「認定動物看護師」が今後広く動物医療の現場で活躍することが期待される。



大阪会場での試験実施風景(大阪国際会議場)

紹介

◎新刊

牛の乳房炎コントロール

本書は、2010年に英国で出版された「Mastitis Control in Dairy Herds」の日本語翻訳版。酪農家と乳牛にとって大敵である乳房炎の理解とその防除の方法について、沢山のカラー写真を用いて、具体的に解説がなされた実用書。乳房の解剖学や乳房局所の免疫から原因となる微生物について、さらに体細胞数の多い乳牛をどうすべきか個々の症例を紹介するなど、乳房炎について包括的に理解することができる。獣医師だけでなく、酪農家や畜産指導員にも分かりやすい。巻末には、専門用語の解説や参考図書の紹介があり、これから乳房炎を学ぼうとす

る学生にも、日ごろ乳房炎防除に努力している臨床獣医師にも必携の書。

著者：Roger Blowey, Peter Edmondson

監訳者：浜名克己

翻訳者：河合一洋、竹内和世

判型：B5判 296頁

定価：9,500円(税別)

問合せ：(株)緑書房

〒103h0004 中央区東日本橋2-8-3

☎03-6833-0560 FAX03-6833-0566

行事等

- 2月3～5日：日本獣医師会獣医学術学会年次大会（北海道）
2月5日：第5回学校動物飼育支援対策検討委員会
2月8日：第17回日本獣医師会雑誌編集委員会
2月15日：第3回関東・東京合同地区獣医師会理事会に山根会長、矢ヶ崎専務理事出席

- 2月18～19日：りぶ・らぶ・あにまらず第2回神戸アニマル国際会議2012に山根会長出席
2月22～23日：北海道・東北地区獣医師会事務局会議に矢ヶ崎専務理事出席
2月27日：譜畜産技術協会第3回理事会及び臨時総会に山根会長出席

紹介

◎新刊

「そだててあそぼう」シリーズ

本書は、1997年から刊行されている人気シリーズで、90の既刊がある。そのうち、動物（昆虫・魚を含む）は、ヤギ、ヒツジ、ブタ、ニワトリ、カイク、ミツバチ、乳牛、肉牛、アイガモ、ウマ、ウサギ、コイ・フナなどの12冊。品種や歴史、飼育方法や飼育暦のほか、乳肉からチーズやベーコンなどの加工品の作り方まで全般が記載されている。絵本のため見た目で見やすい、また小学生向けに平易に書かれているが、解説が充実しているため大人が読

んでも十分の内容。子供の「なぜ？ なに？」という素朴な疑問に答えられる。シリーズには、そのほか、イネ、ダイズ、トマト、リンゴなどがある。

判型：AB判 36頁

定価：1,890円（税込）

問合せ：譜農山漁村文化協会

〒107-8668 港区赤坂7-6-1

☎03-3585-1141 FAX03-3589-1387

紹介

◎新刊

動物用ワクチン — その理論と実際 —

本書は、総論、各論、将来展望の3章からなり、動物用ワクチンを総括的に解説する、わが国初の画期的な書籍。総論では、ワクチンの歴史、感染症に対する動物の生体防御、ワクチンの作用機序について難解な免疫学の進展を平易に解説。加えて各種動物でのワクチネーションプログラムやワクチンの品質管理、ワクチン許認可制度についても詳述。各論では、現在市販されている牛、馬、豚、鶏、魚、犬及び猫の主要なワクチン86製剤について、その製造株の由来、製造方法、攻撃試験成績、臨床試験成績、使用方法などを各製薬メーカーの専門家が記述。将来展望では、これから益々増えるであろう組換えワクチンなどの新規ワクチン、新規アジュバント並

びにそのデリバリーについて記述。本書は、現場でワクチンを使用する獣医師ばかりでなく、ワクチンを開発・販売する企業の研究者・販売員やワクチン学を研究・学習する大学の先生・学生にも必読の書。

編集：動物用ワクチンhバイオ医薬品研究会

発売日：2011年10月31日

判型：A4変形版 328頁

定価：9,870円（税込・送料510円）

問合せ：文永堂出版(株)

〒113-0033 文京区本郷2-27-18

☎03-3814-3321 FAX03-3814-9407

E-mail: buneido@buneido-syuppan.com